

私立大学図書館協会2014年度西地区部会第2回役員会議事要録

1. 日 時：2014年9月12日（金）15：30～17：30

2. 場 所：大谷大学 響流館メディア演習室

3. 出 席：12校25名

<敬称略>

役員名称	大 学 名	職 名	氏 名
会長校	立命館大学	図書館長	平野 仁彦
		図書館次長 兼 図書館管理課課長	近藤 茂生
		図書館管理課	高橋 千穂里
監事校	広島修道大学	図書館長	豊田 博昭
		図書館課長	木村 千鶴
東海地区理事校	中部大学	館長	内藤 和彦
		課長	蓑島 智子
		担当課長	稲垣 啓吾
京都地区理事校	奈良学園大学	図書館長	古田 雅雄
		図書館事務室長	松尾 健
阪神地区理事校	流通科学大学	主査・司書	平林 達也
中国・四国地区理事校	四国大学	課長	山本 哲也
九州地区理事校	久留米大学	課長	熊谷 まゆみ
		課長補佐	二又 紅美子
研究会当番校	大谷大学	教育研究支援部 事務部長	滝川 義弘
		図書・博物館課長	山内 美智
次期部会長校	福岡大学	館長	則松 彰文
		事務部長	井口 紀子
次年度総会当番校	九州産業大学	事務部長	中尾 和弘
		事務室長	宮丸 由美子
次年度研究会当番校	椋山女学園大学	課長	八木 茂徳
部会長校	愛知学院大学	館長	白石 浩之
		事務長	足立 祐輔
		事務長補佐	大平 龍玄
		係長	藤岡 聖子

出席 12校 25名

議事に先立ち、部会長校 愛知学院大学図書館情報センター館長 白石浩之、会長校 立命館大学図書館長 平野仁彦、研究会当番校 大谷大学教育研究支援部事務部長 滝川義弘より挨拶があり、引き続き、出席者全員が自己紹介を行った。議長として、部会長校の愛知学院大学図書館情報センター館長 白石浩之が選出された。

## 議事

### I 報告事項

一連の報告事項については、先の東西合同役員会、総会での報告と重複することから、簡潔に報告することとし、質疑については全て報告事項が終了してから行うこととした。

#### 1. 2014年度西地区部会会務報告（2014年4月～8月）

部会長校 愛知学院大学（足立）より、配付資料（pp. 3～5）に基づき報告があった。

#### 2. 2014年度各地区協議会会務報告及び各地区協議会研究会報告

東海地区：東海地区協議会理事校 中部大学（菟島）より、配付資料（pp. 5～7）に基づき報告があった。

京都地区：京都地区協議会理事校 奈良学園大学（松尾）より、配付資料（pp. 7～9）に基づき報告があった。

阪神地区：阪神地区協議会理事校 流通科学大学（平林）より、配付資料（pp. 9～11）に基づき報告があった。

中国・四国地区：中国・四国地区協議会理事校 四国大学（山本）より、配付資料（pp. 11～12）に基づき報告があった。

九州地区：九州地区協議会理事校 久留米大学（熊谷）より、配付資料（pp. 12～13）に基づき報告があった。

#### 3. 2014年度私立大学図書館協会会務報告

部会長校 愛知学院大学（足立）より、配付資料（pp. 14～24）に基づき報告があった。

#### 4. 2014年度西地区部会研究会の開催運営について

西地区部会研究会当番校 大谷大学（山内）より、配付資料（p. 25）と研究会当日配付の研究会資料に基づき「大学図書館と学修支援」をメインテーマとして開催する旨と、例年とは異なり、研究発表の後、記念講演を行う旨、説明があった。

#### 5. 2015年度西地区部会研究会運営委員校について

部会長校 愛知学院大学（足立）より、配付資料（p. 26）に基づき、次年度研究会の開催概要を検討する5校の紹介、ならびに、次年度研究会当番校の椋山女学園大学において、2015年度研究会の日程やテーマ、講演会などに関して検討する第1回運営委員会を2014年10月24日（金）に開催予定であること、また、今後、各地区協議会に研究発表者の推薦を依頼する旨、併せて説明があった。

次年度研究会当番校 椋山女学園大学（八木）より、2015年9月の第2または第3金

曜日に開催予定である旨も説明があった。

## II 協議事項

### 1. 2015年度西地区部会総会および館長懇談会について

最初に、次年度部会長校 福岡大学（則松）より、事前に総会当番校 九州産業大学との話し合いにおいて、西地区部会総会における館長懇話会の位置付けを考慮し、運営方法の変更を予定している旨、説明があった。続いて、次年度総会当番校 九州産業大学（宮丸）より、配付資料（p.27）に基づき、開催日時が2015年6月12日（金）であること、および日程について説明があった。次年度部会長校 福岡大学（則松）より、館長懇話会については、部会総会の昼食時に行う従来の方式では、十分な意見交換が出来ないため、名称を館長懇談会とし、総会開催前日に立食式で行う方式とすること、また、役員会意見交換会も合同開催とする提案があり承認された。

### 2. 2015年度予備費の予算計上および「地区協議会交付金」の増額について

九州地区協議会から、3回目となる「私立大学図書館協会西地区部会の予備費についての要望理由書」の提出を受け、予備費計上を今回の議題としたところ、阪神地区協議会より「地区協議会交付金」の増額の協議事項提案となった旨、部会長校 愛知学院大学（足立）より、説明があった。

監事校 広島修道大学（木村）より、部会長校担当時（2011年度～2012年度）の予備費の経緯について、当日配付の資料に基づき、当初より研究会の充実のための単年度予算であること、弾力的な運用や交付金の見直しを経てきたが、各地区協議会の会計を見直し、全体を調整する時期であることの説明があった。

部会長校 愛知学院大学（足立）より、部会長校として、単年度ごとの見直しが必要であるにも関わらず、ここ2年は前年度に倣う形で執行してきた経緯を踏まえ、地区協議会交付金を各10万円増額した場合の西地区部会予算の今後3年間の予想推移を提示し、別会費を徴収している協議会もあるため、3年間で地区協議会交付金のみでの運営を目指すことなどを含め、地区協議会交付金について見直す提案があった。各地区協議会からも、特定の協議会だけが申請する予備費ではなく、地区協議会運営のために地区協議会交付金の増額が望ましい旨、意見があった。

次年度部会長校 福岡大学（則松）より、期間限定での増額を今回の協議のみで決定することと、3年後の状態に危惧があることから、予算に関わることについては各協議会で正式な協議を行ってほしい旨、意見があった。

会長校 立命館大学（平野）より、任意団体としてガバナンスの面からも会計監査の必要性の指摘があり、また、適度な余力を持ち、柔軟な協議会運営となるよう熟慮を求める意見があった。

以上の討議を経て、東地区部会とのバランスも考慮し、次年度部会長校 福岡大学へ討議を引き継ぐためにも、2014年度第3回役員会までに各地区協議会で検討することとなった。会長校 立命館大学（近藤）より、検討内容の確認があり、部会長校 愛知学院大学（足立）より、各地区協議会のビジョンを持つために、各地区協議会の現状確認、会費徴収の是非などの検討を依頼して回答とした。今回の合意として、増額について賛

同意見が多数のため、議長案として2015年度は暫定的に「地区協議会交付金」を18万円とし、2014年度第3回役員会開催時に2016年度、2017年度について議論することを提案し、承認された。また、会計監査については、部会長校 愛知学院大学（足立）より、各地区協議会において既に行われていることを説明した。

### Ⅲ 承合事項

なし

### Ⅳ 確認事項

#### 1. 2015年度以降の西地区部会役員校・当番校について

部会長校 愛知学院大学（足立）より、配付資料（pp. 29～30）に基づき、2018年度総会、研究会当番校は2014年度第3回役員会までに確定する旨、説明があった。

#### 2. 2015・2016年度西地区部会役員校について

部会長校 愛知学院大学（足立）より、配付資料（p. 28）に基づき、説明があった。

#### 3. 2015・2016年度西地区部会当番校について

部会長校 愛知学院大学（足立）より、配付資料（p. 28）に基づき、説明があった。

以上